



2023年11月14日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 加 藤 友 彦  
 (コード番号5337 東証スタンダード)  
 問合せ先 総務部長 田 中 靖 久  
 (TEL (06)4795-5000)

## 営業外収益、営業外費用の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年12月期第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）において、営業外収益、営業外費用の発生及び2023年8月10日に公表いたしました2023年12月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益の内容

為替差益

当第3四半期連結累計期間において、外国為替相場の変動に伴う外貨建資産の評価等により14百万円の為替差益を計上いたしました。

#### 2. 営業外費用の内容

持分法による投資損失

第2四半期連結累計期間において66百万円の持分法による投資損失を計上しておりましたが、第3四半期において32百万円の持分法による投資損失を計上し、当第3四半期連結累計期間において持分法による投資損失は99百万円となりました。

#### 3. 連結業績予想の修正

(1) 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,760	△ 530	△ 590	△ 700	△21円71銭
今回修正予想 (B)	5,440	△ 850	△ 940	△ 930	△28円73銭
増減額 (B - A)	△ 1,320	△ 320	△ 350	△ 230	
増減率 (%)	△ 19.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	4,644	△ 1,044	△ 1,082	△ 370	△12円49銭

#### (2) 修正の理由

2023年12月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、タイル事業においては、販売体制の強化及び指定力の向上、高付加価値商品の拡販による利益率の改善に努めた結果、当第3四半期連結会計期間においては、順調に成果として表れており、当初の予想より売上高は183百万円上回る

ものの、資産の効率化を図るため、棚卸資産の除却・評価損を 85 百万円見込んだことにより営業利益は 89 百万円下回る見通しとなりました。

不動産事業においては、日本への渡航制限が緩和されたことを受け、主要顧客である海外投資家が投資再開に向けた動きを活発化させており、受託資産の拡大に努めた結果、売上高 378 百万円及び営業利益 31 百万円、当初予想を上回る見通しとなりました。

また、当第 3 四半期以降、連結子会社ダントーテクノロジーズ株式会社において計画しておりました海外向けの設備、機器の販売については、当初 2023 年後半から売上高 1,870 百万円、営業利益 159 百万円を見込んでおりましたが、米ドル建取引による販売予定先通貨の大幅な米ドル高及び政情不安など予想せぬ状況になり、また、事業リスク等を勘案した結果、設備、機器の販売を見送ることとし、売上高 1,870 百万円、営業利益 306 百万円、当初の予想を下回る見通しとなりました。

経常利益については、上記記載のとおり、為替差益 14 百万円を営業外収益に計上しましたが、持分法による投資損失 99 百万円を営業外費用に計上することとなりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益において、連結子会社タッチストーン・キャピタル・マネージメント株式会社及びダントーテクノロジーズ株式会社の第三者割当増資による当社持分の変動に伴い、非支配株主に帰属する四半期純損失を 133 百万円計上したことにより、当初の予想を上回る見通しとなりました。

通期の業績予想につきましては、当第 3 四半期連結累計期間の業績を踏まえ、上記のとおり修正いたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上